

IMAGENICS

4K HDMI Analog Audio Embedder / De-Embedder

CRO-UAE12

取扱説明書

CRO-UAE12 はアナログ音声をアナログ/デジタル変換して HDMI 信号へ重畳することや、同時に HDMI 信号内のリニア PCM 音声を分離してアナログ音声として再生することができる音声エンベダー/デエンベダーです。

アナログ音声端子 1~4 は入力/出力共用となっており、スライドスイッチにより 1/2 のペアと 3/4 のペアで入出力を切り替えることが可能です。入力 4 チャンネルもしくは入力 2 チャンネル+出力 2 チャンネル、出力 4 チャンネルに設定してご使用いただけます。HDMI 入力及びアナログ音声入力の各音声チャンネルは独立してレベル調整や遅延設定、入替えやミキシングが可能です。

この取扱説明書をよくご覧になった上、本書をいつでも見られる場所に保管してください。

安全にお使いいただくために

本機は、安全に十分配慮して設計されています。しかし、誤った使い方をすると火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのさまざまな絵表示をしてあります。その表示を無視して、誤った取り扱いをする事によって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してからお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性がある事を示しています。	 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が怪我をしたり物的な損害を負う可能性がある事を示しています。
---	--	---	--

絵表示の意味(絵表示の一例です)

	注意（警告を含む）を促すものです。例えば  は「感電注意」を示しています。
	禁止行為を示すものです。例えば  は「分解禁止」を示しています。
	行為を強制したり指示したりするものです。例えば  は「プラグを抜くこと」を示しています。

 警告	
本機は日本国内専用です。付属のACアダプターは交流100V、50Hz・60Hzの電源でご使用ください。指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。	
電源コードを傷つけないでください。電源コードを加工したり、傷つけたり、重いものをのせたり、引っ張ったりしないで下さい。また、熱器具に近づけたり加熱したりしないで下さい。火災や感電の原因となる場合があります。万一電源コードが傷んだら、当社サービス窓口へ修理をご依頼ください。	
内部に水や異物を入れないでください。火災や感電の原因となる場合があります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り当社サービス窓口にご相談ください。	
本機から煙や異音ができる、異臭がするなどの異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因になる場合があります。異常が発生したら直ちに電源を切り、当社サービス窓口にご相談ください。	
雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。 感電の原因となる場合があります。	
通風孔が有る機器では通風孔を塞がないでください。他の機器や壁、家具、ラック面との間にはすき間をあけてください。ラックなどに入れる場合は本機とラック面、他の機器との間にすき間をあけて配置してください。上から布などを掛ける、または絨毯や布団などの柔らかい物の上に置く等、放熱の妨げになる設置方法は避けてください。加熱して火災や感電の原因になる場合があります。	

 注意	
安定した場所に設置してください。ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、落下によりけがの原因になることがあります。	
長期間の使用において内部にほこりがたまると、火災や感電の原因となることがありますので定期的に内部の清掃をすることをお勧めします。当社サービス窓口にご相談ください。	
本機をご使用の際は、使用温湿度範囲をお守りください。保存される場合は保存温湿度範囲を守って保存してください。	
電源プラグの抜き差しはプラグの部分を持って行ってください。電源プラグを抜くときはコードを引っ張らずに、プラグの部分を持って抜き差ししてください。コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。	
濡れた手で電源プラグにさわらないでください。 感電の原因になることがあります。	
定期的に電源プラグのチェックをしてください。 電源コンセントにプラグを長期間差し込んだままにしておくと、その間にほこりやゴミがたまってきます。さらに空気中の水分などを吸湿すると、電気が流れやすくなるため（トラッキング現象）プラグやコンセントが炭化し、ときには発火の原因になることがあります。事故を防ぐため定期的に電源プラグがしっかりささっているか、ほこりがついていないかなどを点検してください。	
移動させるとき、長時間使わないときは電源プラグを抜いてください。 電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。長期間使用しないときは安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。	
お手入れのときは、電源プラグを抜いてください。 電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因になることがあります。	
分解、改造などをしないでください。感電の原因となることがあります。内部の点検、修理、清掃は当社のサービス窓口にご依頼ください。	
機器の破損の原因となることがありますので、本機に入出力ケーブルを接続する際は、各機器の電源が切れている状態で接続してください。	

正常な使用状態で本機に故障が発生した場合は、弊社規定に定められた条件に従って修理いたします。但し、本機の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因により通信、録画、再生などにおいて利用の機会を逸したために生じた損害などの付随的損失の補償につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

目 次

安全にお使いいただくために	1
1. 同梱物の確認	5
2. CRO-UAE12 の特長	
3. 各部の説明	6
3-1. 上面/側面(音声端子側)	
① アナログ音声端子	
② ファンクションダイヤル	
③ IN/OUT LAMP	
④ MENU LAMP (KEY LOCK LAMP 兼用)	7
⑤ 音声端子入出力切換えスイッチ(音声端子 1/2 用)	
⑥ 音声端子入出力切換えスイッチ(音声端子 3/4 用)	
3-2. 側面(映像端子側)	8
① VIDEO IN 端子	
② VIDEO OUT 端子	
③ Service 端子	
④ 電源供給端子	
【HDMI ケーブル抜け防止キットの使用方法】	9
4. 使用方法	10
4-1. アナログ音声端子の入出力切替え	
<< 音声信号の重畳/分離イメージ >>	
(1) 音声重畳 2ch/音声分離 2ch 設定時	
・ 音声端子 1/2 を入力(IN)、音声端子 3/4 を出力(OUT)に設定した場合	
・ 音声端子 1/2 を出力(OUT)、音声端子 3/4 を入力(IN)に設定した場合	
(2) 音声重畳 4ch 設定時	11
・ 音声端子 1/2 と音声端子 3/4 を入力(IN)に設定した場合	
[LPCM マルチチャンネル音声に対応していない表示機器使用時の注意点]	
(3) 音声分離 4ch 設定時	
・ 音声端子 1/2 と音声端子 3/4 を出力(OUT)に設定した場合	
[アナログ音声出力のクロストーク(漏話)について]	12
[4K60Hz/59.94Hz の映像入力時の動作について]	
[VIDEO 入力切り替え時等のアナログ音声ノイズについて]	
[VIDEO 入力が無い時の黒画面出力について]	
4-2. オンスクリーンメニューの操作方法	
<< オンスクリーンメニューの階層 >>	
<< オンスクリーンメニューの表示/非表示操作 >>	14
(1) INPUT/OUTPUT INFORMATION ページの説明	15
(2) VIDEO SETTING ページの説明	16
(3) AUDIO SETTING ページの説明	19
<EMBED MODE 項目説明>	20
・ 音声マッピングの設定方法	21
・ テストトーン出力の設定方法	22
<PEAK TIME 項目説明>	23
<BLACK SCREEN 項目説明>	
<LEVEL/DELAY SETTING 項目説明>	24
(4) EDID SETTING ページの説明	25

<EDID INPUT SET 項目説明>	
<カスタム EDID の選択項目説明>	
(5) RESET ページの説明	----- 27
<RESET SETTING 項目説明>	
4-3. 初期化起動	----- 28
5. 工場出荷設定値	
6. ブロック図	----- 29
7. ラックマウントについて	
8. 主な仕様	----- 30

1. 同梱物の確認

箱から取り出しましたら次のものが入っていることを確認してください。

・ 本体	1 台
・ 国内専用 AC アダプター (5V 2.3A 出力 ロック付き)	1 台
・ HDMI コネクタ抜け止めキット (CL-2)	2 式
・ 取扱説明書 (本書)	1 部

万一、内容物に不足がある場合には弊社営業窓口にご連絡ください。

△注意 付属の AC アダプターは本機専用です。専用品以外の使用に起因する故障は有償修理となります。

2. CRO—UAE12の特長

本機 1 台で HDMI 信号への音声重畳と HDMI 信号からの音声分離が可能です。上面のスライドスイッチでアナログ音声端子を入力に設定すると音声重畳機能が、出力に設定すると音声分離機能が自動で動作します。更にファンクションダイヤルを操作してオンスクリーンメニューから本機動作の詳細設定や映像・音声の入出力情報を表示可能です。

●音声重畳機能：アナログ音声端子 (1/2、3/4) を入力に設定すると、アナログ入力音声を LPCM 音声に変換 (アナログ/デジタル変換) して HDMI 信号に重畳します

- ・ VIDEO 入力信号が DVI の場合は HDMI に変換して出力
(DVI は仕様上音声がないため、音声重畳が必要な場合は HDMI への変換が必要です)
- ・ VIDEO 入力信号 (HDMI) に元から入っている音声 (HDMI 音声) は削除
(設定により元から入っている音声とアナログ入力音声のミキシングも可能です)

●音声分離機能：アナログ音声端子 (1/2、3/4) を出力に設定すると、VIDEO 入力信号内の音声 (HDMI 音声) をアナログ音声に変換して出力します

- ・ 表示機器を接続していなくてもアナログ音声端子から音声を出力
- ・ アナログ変換できる HDMI 音声は LPCM (リニア PCM) のみ対応
(ドルビーステレオ等の圧縮音声や DTS 等のハイビットレート音声は非対応です)

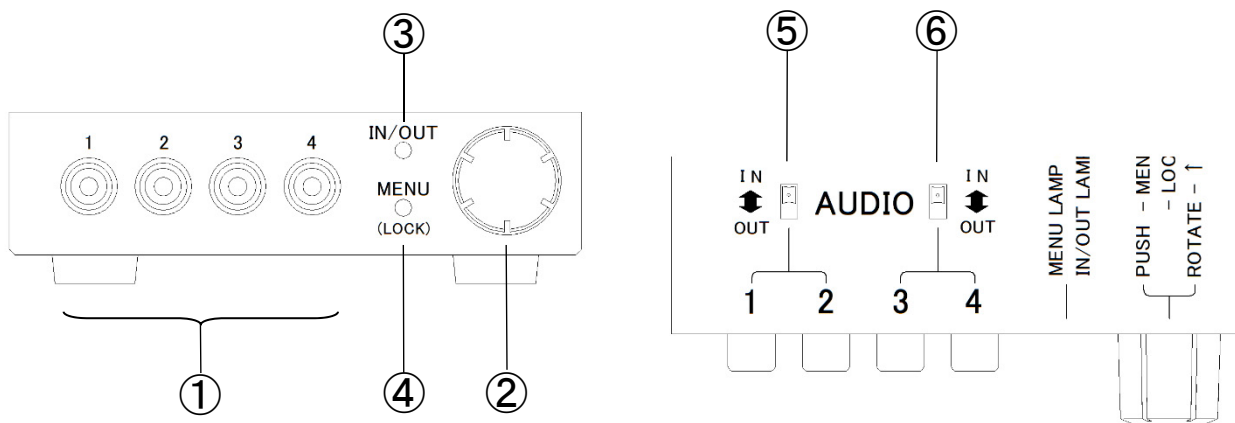
●オンスクリーンメニューで各種情報表示や、本機動作の詳細設定が可能です

- ・ 入出力映像情報、入出力音声情報、EDID 情報を表示
オンスクリーンメニューを表示することで、簡易的に映像表示不良時の切り分けが可能です
- ・ EDID 設定 (パススルー、コピー、バックアップ、カスタム) を変更可能
- ・ 音声設定 (レベル調整、遅延、チャンネル入替え、ミキシング) を設定可能
音声設定はアナログ入力及び HDMI 入力の各音声チャンネルに対して独立して設定できます

●DC プラグロック機構 (抜け止め防止) 付き AC アダプターを採用

3. 各部の説明

3-1. 上面 / 側面(音声端子側)



① アナログ音声端子 (RCA × 4)

4チャンネル不平衡アナログ音声の入出力兼用端子です。

上面の音声入出力切替えスイッチ(⑤, ⑥)にて入力もしくは出力に設定してから音声機器と接続してください。

② ファンクションダイヤル

オンスクリーンメニューの操作に使用する旋回・押し込みが可能なダイヤルです。

ファンクションダイヤルを押すとオンスクリーンメニューを表示します。

ファンクションダイヤルを時計回り/反時計回りに旋回することでメニュー画面のカーソル(指マーク)移動や選択項目変更を行い、押すことで項目確定を行います。最初に表示されるページ左上の MENU OFF にカーソルを合わせてダイヤルを押すとオンスクリーンメニュー表示を終了します。オンスクリーンメニューを表示中は本機側面の MENU LAMP が点滅します。

ファンクションダイヤルをキーロック(2秒程度長押し)すると、ダイヤルへの接触等により不用意にオンスクリーンメニューが表示されるのを防ぐことができます。

キーロック中は MENU LAMP が点灯します。キーロックを解除するには再度ダイヤルを2秒程度長押ししてください。キーロックは本機の電源を入れ直しても保持します。

③ IN / OUT LAMP

VIDEO IN/OUT 端子の信号入出力状態を示す緑・橙・赤のインジケータランプです。

電源投入後は常に橙か緑で点灯するため、電源インジケータともなります。

LAMP 点灯状態		説明
橙	点灯	入力信号なし(電源 ON)
	一定速度で早い点滅(約 0.4 秒周期)	入力信号を検出・処理中
	一定速度で遅い点滅(約 3.2 秒周期)	入力信号に MUTE フラグを検出
	フラッシュ点滅 1 回(約 1.6 秒周期)	入力信号にエラーを検出
	フラッシュ点滅 2 回(約 1.6 秒周期)	入力信号に対応できない
緑	点灯	正常出力中
	フラッシュ点滅 1 回(約 1.6 秒周期)	出力側接続機器の EDID 読み取りエラーもしくは接続未検出

	フラッシュ点滅 2 回 (約 1.6 秒周期)	何らかの要因で出力できない (HDMI 対応、HDCP 対応、HDR 対応の不整合や その他異常時)
	一定速度で遅い点滅 (約 3.2 秒周期)	ダウンコンバートして出力中 (4K 解像度→フル HD)
	点灯 (約 3.2 秒間) と点滅 (約 0.8 秒周期/3.2 秒 間) を交互に繰り返し	HDCP 不整合のため出力をミュート中
橙/緑	橙、緑交互に遅い点滅 (約 3.2 秒周期)	入力信号に AVMUTE フラグを検出
赤	点灯、点滅、フラッシュ点滅	本機内部の異常を検出

- ・赤色で点灯、点滅、フラッシュが継続する場合は本機の修理を弊社営業部へご依頼ください
- ・電源投入時は LED 点灯テストのため、約 2 秒間継続して緑色で点灯します
- ・橙色発光は赤と緑の 2 色同時発光によるため、見る角度によっては色が分離して見えることがあります

④ MENU LAMP (KEY LOCK LAMP 兼用)

オンスクリーンメニューの表示状態、及びファンクションダイヤルのキーロック状態を示す緑色のインジケータランプです。

LAMP 点灯状態	説明
一定速度で遅い点滅 (約 1.6 秒周期)	入力映像を背景にオンスクリーンメニューを表示中
一定速度で速い点滅 (約 0.4 秒周期)	黒画面を背景にオンスクリーンメニューを表示中
フラッシュ点滅 1 回 (約 1.6 秒周期)	バックアップエラー (書込み)
フラッシュ点滅 2 回 (約 1.6 秒周期)	バックアップエラー (読出し)
点灯	キーロック中

- ・電源投入時は LED 点灯テストのため、約 2 秒間継続して緑色で点灯します

⑤ 音声端子入出力切替えスイッチ (音声端子 1/2 用 2 極スライドスイッチ)

アナログ音声端子 1 と 2 の機能を切替えます。

	工場出荷時は入力になっています (スイッチが IN ラベル側に位置)。 出力に変更する場合はスイッチを OUT ラベル側にスライドしてください。
---	---

△注意 スwitchの切り替えは本機の電源 OFF 時か音声機器と未接続の状態で行ってください

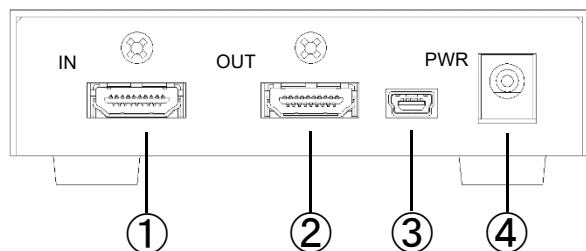
⑥ 音声端子入出力切替えスイッチ (音声端子 3/4 用 2 極スライドスイッチ)

アナログ音声端子 3 と 4 の機能を切替えます。

	工場出荷時は出力になっています (スイッチが OUT ラベル側に位置)。 入力に変更する場合はスイッチを IN ラベル側にスライドしてください。
---	---

△注意 スwitchの切り替えは本機の電源 OFF 時か音声端子を未接続の状態で行ってください

3-2. 側面 (映像端子側)



① VIDEO IN 端子 (HDMI Type Aコネクタ)

映像信号の入力端子です。ソース機器と本機を HDMI ケーブルで接続してください。

HDMI 抜け防止キットを取り付け可能です。

- ・ 4K60Hz 映像を正常に表示するためには高品質な HDMI ケーブルをご使用ください (弊社 4K 対応 HDMI ケーブルをお勧めします)

- ・ DVI 機器と接続する場合は DVI/HDMI 変換ケーブル、もしくは変換コネクタをご使用ください (弊社変換ケーブル DVIP-HDP シリーズ、もしくは変換コネクタ DVIP-HDMIS-C をお勧めします)

② VIDEO OUT 端子 (HDMI Type Aコネクタ)

映像信号の出力端子です。シンク機器 (表示機器) と本機を HDMI ケーブルで接続してください。

HDMI 抜け防止キットを取り付け可能です。

- ・ 4K60Hz 映像を正常に表示するためには高品質な HDMI ケーブルをご使用ください (弊社 4K 対応 HDMI ケーブルをお勧めします)

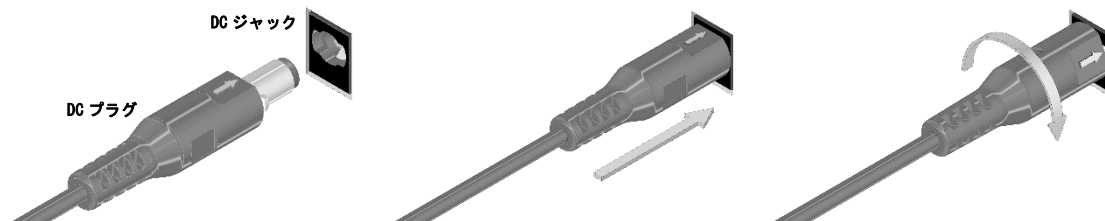
③ Service 端子 (USB mini-B)

保守用端子のため使用しません。

④ 電源供給端子 (DC ジャック $\phi 5.5$ センタープラス)

添付 AC アダプターを接続してください。

本端子 (DC ジャック) の切り欠きと AC アダプターケーブル端の DC プラグの突起を合わせて挿入してください (DC プラグの矢印マークを上面にして挿入するとうまく勘合します)。DC プラグを挿入後、時計方向に 45 度程度回すとロックされます。DC プラグを抜く時は逆の操作を行ってください。

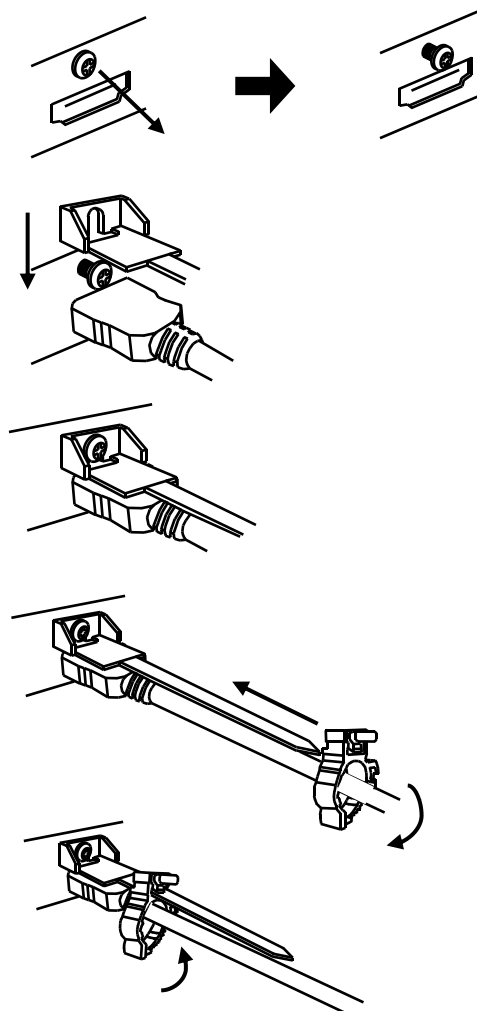


⚠警告 故障や発火の原因となりますので、必ず付属の AC アダプターをお使いください。
付属品以外を使用した場合の故障は有償修理となります。

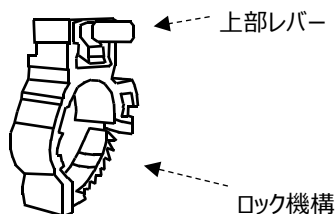
【HDMI ケーブル抜け防止キットの使用法】

本機の HDMI 端子に接続した HDMI ケーブルが、誤って抜けてしまうことを防止するための抜け止め防止キット “CL-2” を付属しています。CL-2 は以下の要領で本機に固定してください

- 機器の HDMI コネクタ上部にあるネジをドライバー等で緩めてください。
- HDMI ケーブルを差し込み、緩めたネジに HDMI ケーブル抜け防止キットのベース部前部の切り欠きを引っかけます。
- 緩めたネジをドライバー等で締め、HDMI ケーブル抜け防止キットのベース部を固定します。
- 固定具のサイドにあるロック機構を外し、HDMI ケーブルを通します。下図のように固定具上部にベース部先端を通し、HDMI ケーブルを固定できる箇所までスライドさせていきます。
- 固定具のサイドにあるロック機構をケーブルの太さに合わせて締めて、HDMI ケーブルが機器より抜けないようにコネクタを固定します。



- 固定具を緩める（外す）場合は、ロック機構を外して、固定具上部のレバーを上側に上げながら後方へスライドさせてください。固定具の固定具合が緩くなったと感じた場合は、固定位置で固定具上部のレバーを下側に押し込むことにより固定度合いが強くなることが期待できます。



※ 本治具は弊社機器より意図しない HDMI の脱落防止を補助する物です。意図しない HDMI ケーブルの脱落を完全に防止するものではないのでご注意ください

4. 使用方法

用途に合わせてアナログ音声端子を入力(IN)もしくは出力(OUT)に設定してご使用ください。
アナログ音声端子の設定に従い自動で音声重畳、音声分離を行います。
オンスクリーンメニューから音声チャンネルのレベル調整、ディレイ設定やミキシング、また映像入出力に関する項目の設定・確認が可能です。

4-1. アナログ音声端子の入出力切換え

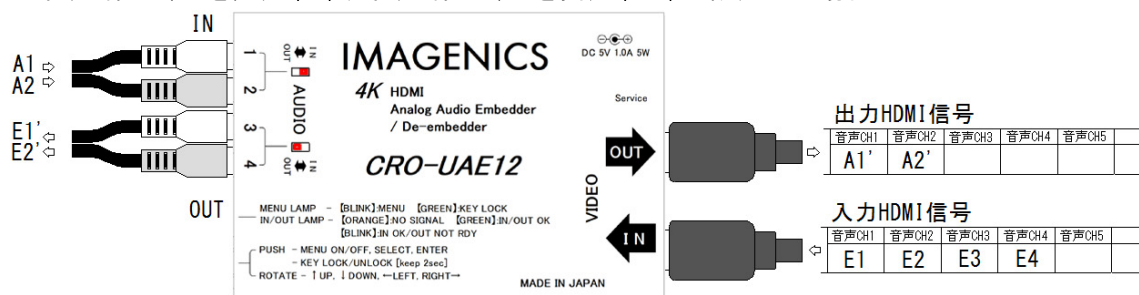
本機上面のアナログ音声入出力切替えスイッチで音声端子の機能を切り替えます。音声端子 1 と 2、もしくは音声端子 3 と 4 のペアで機能が切り替わります。

<< 音声信号の重畳/分離イメージ >>

音声重畳/分離動作時の音声信号の流れを模式的に表します（内蔵メモリは工場出荷状態）。
以下の図で便宜上 A1～A4 が入力アナログ音声信号を、A1' ～A4' が A/D（アナログ/デジタル）変換後の重畳音声信号を表します。また E1～E4 は入力 HDMI 音声信号を、E1' ～E4' は D/A（デジタル/アナログ）変換後の分離音声信号を表します。

(1) 音声重畳 2ch / 音声分離 2ch 設定時

- ・音声端子 1/2 を入力(IN)、音声端子 3/4 を出力(OUT)に設定した場合



入力 HDMI 信号内の音声 E1, E2 をアナログ端子から出力し(→E1', E2')、これと入れ替えて入力アナログ音声 A1, A2 を出力 HDMI 信号の音声として出力します(→A1', A2')。

入力 HDMI 信号内の音声 E1～E4 は出力 HDMI 信号に引き継がれません。

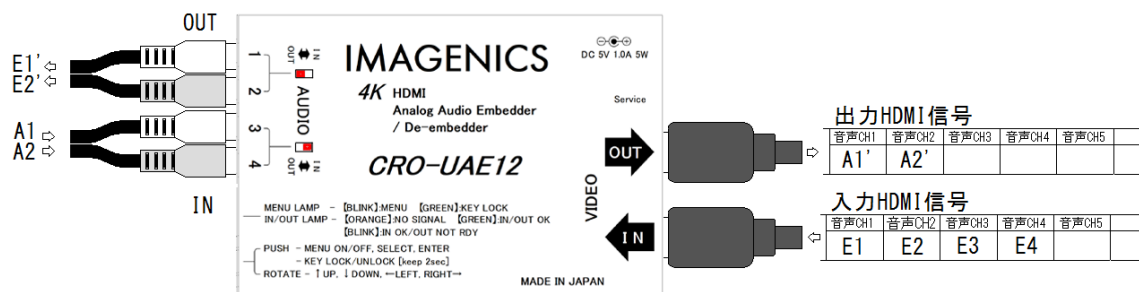
A1/A2 : アナログ音声(入力)

A1'/A2' : アナログ音声 A1/A2 をデジタル信号へ変換した音声(出力)

E1～E4 : デジタル音声(入力)

E1'/E2' : デジタル音声 E1/E2 をアナログ信号へ変換した音声(出力)

- ・音声端子 1/2 を出力(OUT)、音声端子 3/4 を入力(IN)に設定した場合



入力 HDMI 信号内の音声 E1, E2 をアナログ端子から出力し(→E1', E2')、これと入れ替えて入力アナログ音声 A1, A2 を出力 HDMI 信号の音声として出力します(→A1', A2')。

入力 HDMI 信号内の音声 E1～E4 は出力 HDMI 信号に引き継がれません。

A1/A2 : アナログ音声(入力)

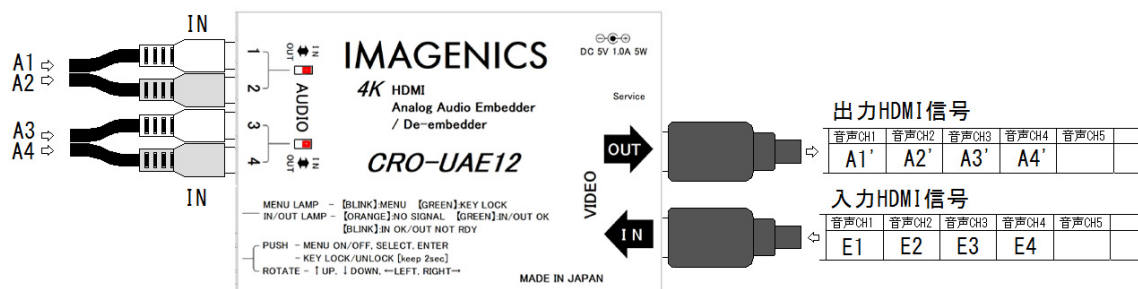
A1'/A2' : アナログ音声 A1/A2 をデジタル信号へ変換した音声(出力)

E1～E4 : デジタル音声(入力)

E1'/E2' : デジタル音声 E1/E2 をアナログ信号へ変換した音声(出力)

(2) 音声重畳 4ch 設定時

・ 音声端子 1/2 と音声端子 3/4 を入力(IN)に設定した場合



入力 HDMI 信号内の音声 E1～E4 と入れ替えて入力アナログ音声 A1～A4 を出力 HDMI 信号の音声として出力します(→A1'～A4')。

入力 HDMI 信号内の音声 E1～E4 は出力 HDMI 信号に引き継がれません。

A1～A4 : アナログ音声(入力)

A1'～A4' : アナログ音声 A1～A4 をデジタル信号へ変換した音声(出力)

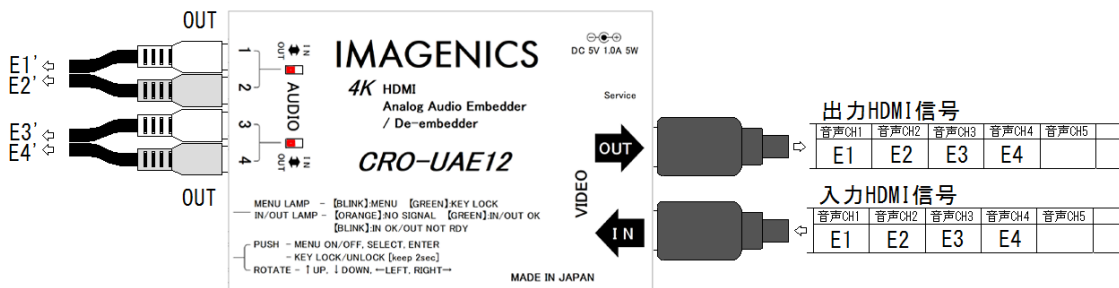
E1～E4 : デジタル音声(入力)

[LPCM マルチチャンネル音声に対応していない表示機器使用時の注意点]

アナログ音声端子を全て IN に設定した場合は、自動的に LPCM マルチチャンネル音声として重畳します。2 チャンネルを越える音声に対応していない機器では正常に音声出力されない場合がありますので、未使用の音声端子は出力(OUT)に設定してご使用ください。

(3) 音声分離 4ch 設定時

・ 音声端子 1/2 と音声端子 3/4 を出力(OUT)に設定した場合



入力 HDMI 信号内の音声 E1～E4 をアナログ端子から出力します(→E1'～E4')。

入力 HDMI 信号の音声 E1～E4 は出力 HDMI 信号に引き継がれます(→E1～E4)。

E1～E4 : デジタル音声信号(入力)

E1'～E4' : デジタル音声 E1～E4 をアナログ信号へ変換した音声(出力)

[アナログ音声出力のクロストーク (漏話)について]

音声端子の CH ペア (通常はステレオ L/R で使用) を出力にして使用中に片方の CH が無音でも、もう片方の音が僅かに漏れ聞こえる場合があります。これはステレオ音声ケーブルやステレオ音声コネクタ内で発生するクロストークに起因するものですので、音声端子別にそれぞれ独立した音声ケーブルを接続してご使用いただくことで改善可能です。

[4K60Hz/59.94Hz の映像入力時の動作について]

表示機器が 4K60Hz/59.94Hz (RGB/Y444/Y420) に非対応の場合は自動的にダウンコンバート機能が働き、フル HD 解像度 (1920×1080p@60Hz/59.94Hz) で出力します。ダウンコンバート機能はオンスクリーンメニューで強制もしくは無効に設定することも可能です。また本機のダウンコンバート動作は映像画素を水平/垂直方向に単純間引きする方式のため、絵柄によっては元映像に無い模様や色味の変化が生じる場合がありますので予めご承知おきください。

[VIDEO 入力切り替え時等のアナログ音声ノイズについて]

本機は VIDEO 入力の切り替え時や OSD による動作設定変更時のアナログ音声ノイズを低減しますが、ソース機器の挙動により軽微なポップノイズが出ることがありますので予めご承知おきください。

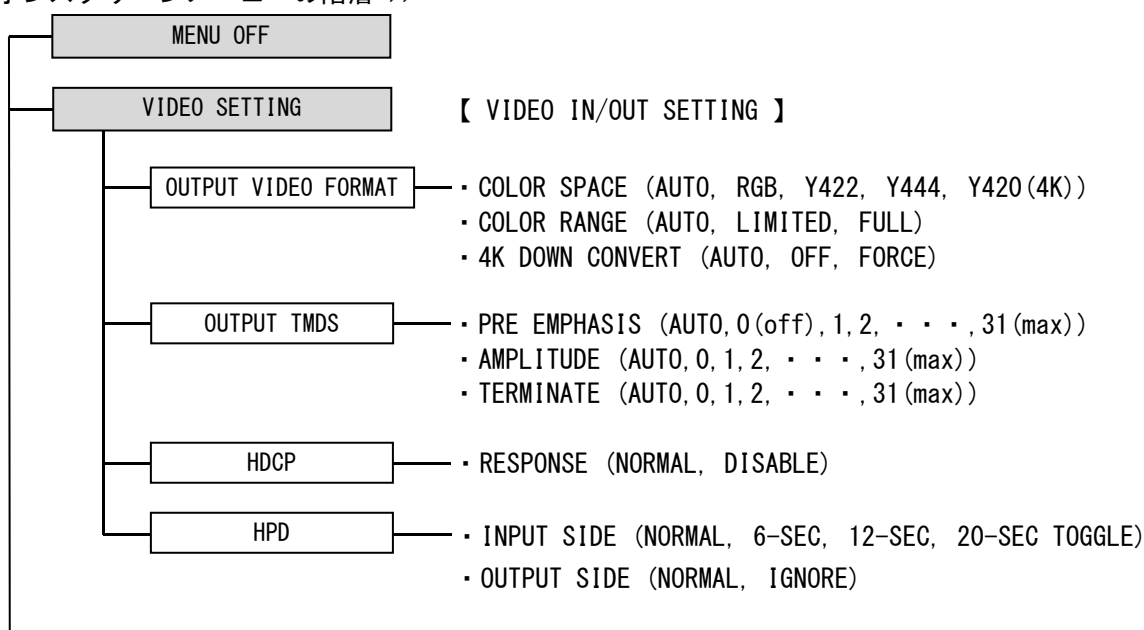
[VIDEO 入力が無い時の黒画面出力について]

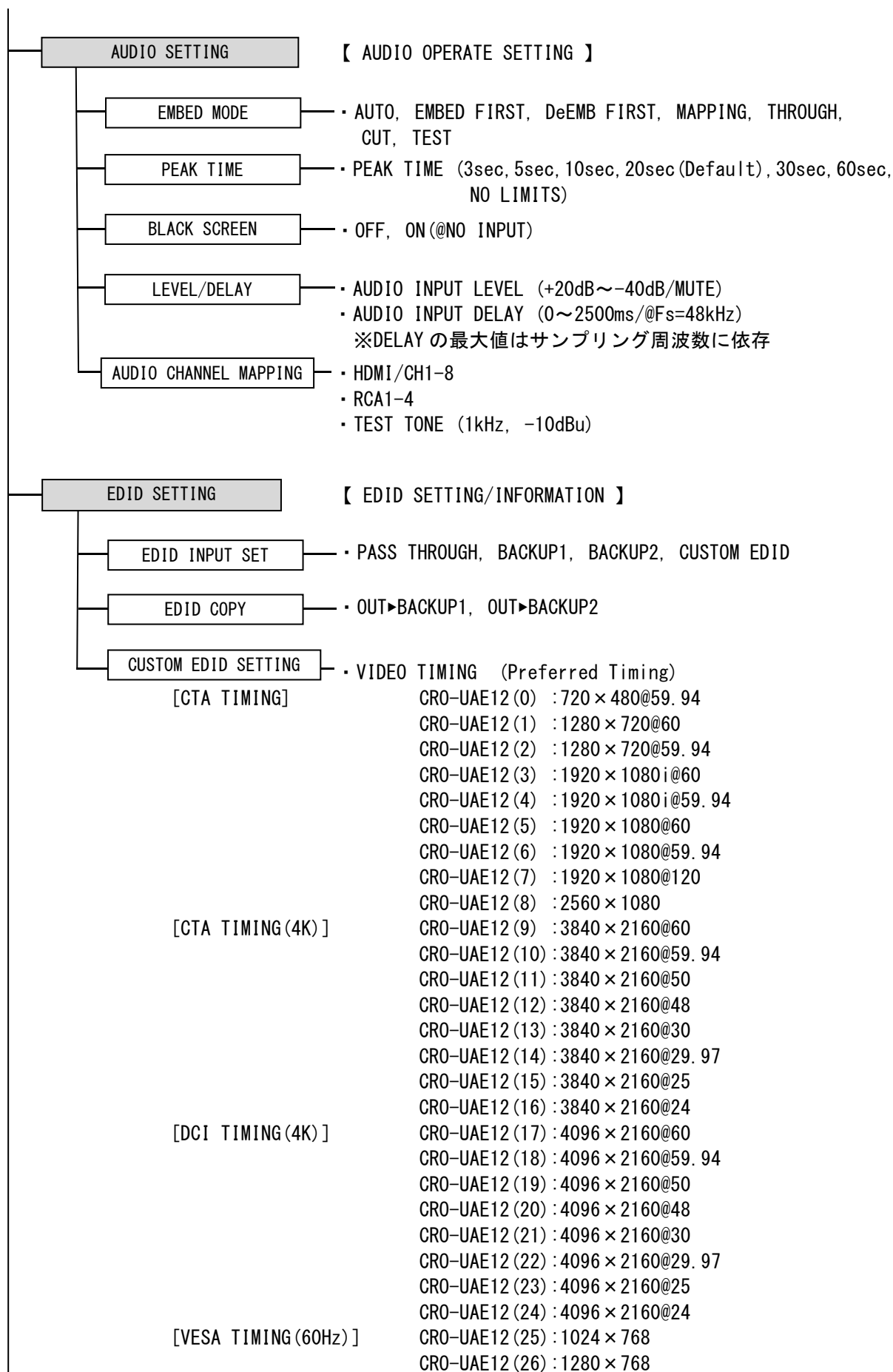
EMBED MODE が EMBED FIRST 及び MAPPING の時は BLACK SCREEN 設定を ON にすることにより、VIDEO 入力が無い場合に HDMI 720×480@59.94Hz の黒画面に音声重畳して出力します。BLACK SCREEN 設定が OFF の時は VIDEO 入力が無い場合に VIDEO OUT 出力を停止します。他の EMBED MODE (TEST を除く) では BLACK SCREEN 設定は OFF になります。

4-2. オンスクリーンメニューの操作方法

オンスクリーンメニューで入出力の確認や、映像・音声・EDID に関する設定が可能です。

<< オンスクリーンメニューの階層 >>





CRO-UAE12 (27) : 1360 × 768
 CRO-UAE12 (28) : 1366 × 768
 CRO-UAE12 (29) : 1440 × 900
 CRO-UAE12 (30) : 1280 × 960
 CRO-UAE12 (31) : 1280 × 1024
 CRO-UAE12 (32) : 1600 × 900
 CRO-UAE12 (33) : 1400 × 1050
 CRO-UAE12 (34) : 1680 × 1050
 CRO-UAE12 (35) : 1600 × 1200
 CRO-UAE12 (36) : 1920 × 1200 (R)
 CRO-UAE12 (37) : 1280 × 800
 CRO-UAE12 (38) : 2048 × 1152 (R)
 CRO-UAE12 (39) : 2560 × 1600 (R)

- COL-SPACE (RGB, RGB/Y444, RGB/Y422, RGB/Y444/Y422, RGB/Y420 (4K))
- HDR (NOT SUPPORT, 100, 600, 1000, 2000, 4000, 10000 cd/m²max)
- AUDIO FORMAT (BASIC AUDIO, LPCM 2CH~8CH max)
- SAMPLING (32/44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz only or max)
- BIT-DEPTH (16/20/24bit only, 20/24bit max)
- SPEAKER (PATTERN0~49), ▶SHOW PTN

RESET

【 RESET SETTING 】

- SELECT TARGET (ALL, VIDEO SETTING, AUDIO SETTING, EDID SETTING)

INPUT INFORMATION : EDID, VIDEO, AUDIO

OUTPUT INFORMATION : VIDEO, AUDIO, SINK

FW (Program バージョン, Firmware バージョン)

＜＜ オンスクリーンメニューの表示/非表示操作 ＞＞

ファンクションダイヤルを押すと最初のページ[INPUT/OUTPUT INFORMATION]を表示します。メニュー上のカーソル(☞指マーク)がMENU OFFを指す位置にある時に再度ファンクションダイヤルを押すとメニュー表示を終了します。



ファンクションダイヤルの旋回方向とカーソル(☞)の移動方向

映像入力時は入力映像を背景としてメニュー画面をオンスクリーン表示し、未入力時は黒画面(720×480@59.94Hz)を背景にメニュー画面を表示します。メニュー画面表示直後、カーソルを移動しない状態(MENU OFFを指す位置)で2秒程以上長押しすると、映像入力の有無に関わらず黒画面を背景とした強制メニュー表示に移行します。強制メニュー表示を終了するには、カーソルをMENU OFFを指す位置に合わせて2秒程度長押しする必要があります。

(1) INPUT/OUTPUT INFORMATION ページの説明

[INPUT/OUTPUT INFORMATION] PAGE画面表示例



〈設定ページ選択行の説明〉 目的の行にカーソル(←→)を合わせてファンクションダイヤルを押してください

ページ	説明
MENU OFF	オンスクリーンメニュー表示を終了します
VIDEO SETTING	映像入出力の設定ページへ移動します
AUDIO SETTING	音声入出力の設定ページへ移動します
EDID SETTING	EDID 設定及び EDID 内容表示のページへ移動します
RESET	設定値を初期化ページへ移動します

〈入力情報欄 (INPUT INFORMATION) の説明〉 入力の各種情報を簡易表示します

表示項目	説明
EDID	本機の現在の EDID 設定モードを表示します。 設定モードが PASS THROUGH 及び BACKUP1、BACKUP2 の時は EDID 内の MODEL NAME を表示し、CUSTOM EDID の時はモニタ名 [CRO-UAE12 + カスタム番号 0~39] を表示します。これらは PC を接続した時に識別されるモニタ名となります。
VIDEO	VIDEO IN 端子から入力中の映像フォーマット (HDMI, DVI)、カールスペース、ビット数、ダイナミックレンジ (SDR, HDR)、HDCP 情報、解像度、リフレッシュレートもしくはソース機器の接続に関するメッセージを表示します。
AUDIO	VIDEO IN 端子から入力中の HDMI 音声、アナログ音声端子から入力中のアナログ音声の検出情報を表示します。 【HDMI IN】 HDMI 音声入力レベルの rms 値と peak 値 【RCA IN】 アナログ音声入力レベルの rms 値と peak 値

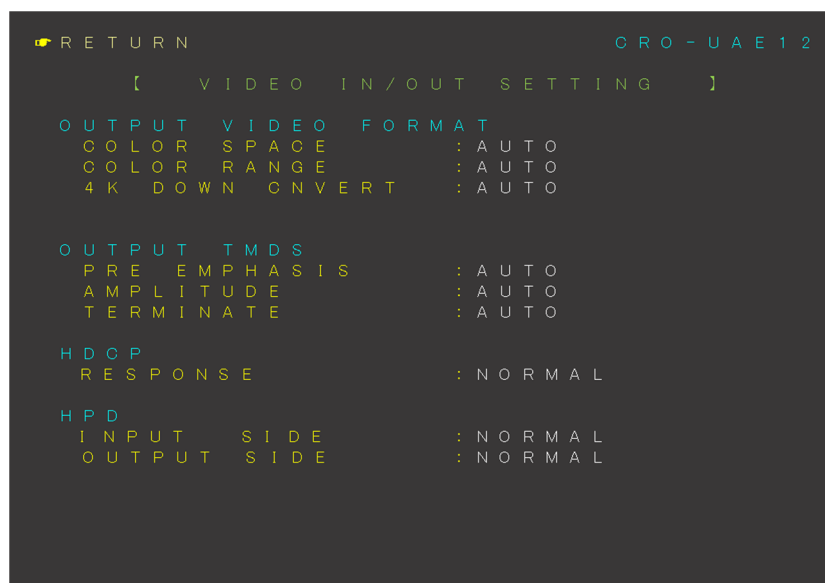
〈出力情報欄 (OUTPUT INFORMATION) の説明〉 出力の各種情報を簡易表示します

表示項目	説 明
VIDEO	出力映像に関する情報を簡易表示します。
AUDIO	本機の現在の音声に関する設定を略表示します。 EMB : 音声重畳 (Embed) 有効 DeEMB : 音声分離 (De Embed) 有効 MIX : 音声ミキシング有効 MAP : 音声マッピング有効 LVL : 音声レベル設定有効 DLY : 音声ディレイ設定有効
SINK	VIDEO OUT 端子に接続中の機器情報を表示します。
FW	本機のプログラム、ファームウェアバージョン

(2) VIDEO SETTING ページの説明

VIDEO IN 端子からの入力及び VIDEO OUT 端子からの出力に関する動作を変更できます。
本設定ページの項目を変更した場合は本機の電源を入れ直してください。

[VIDEO IN/OUT SETTING] PAGE 画面表示例



〈OUTPUT VIDEO FORMAT 項目説明〉 映像出力フォーマットに関する設定です

項目	説 明
COLOR SPACE	出力映像のカラースペースを設定します。 通常は工場出荷設定のままご使用ください。 AUTO : 接続機器に合わせて自動設定 ※工場出荷設定 RGB : RGB で出力

	Y422 : YPbPr (4:2:2) で出力 Y444 : YPbPr (4:4:4) で出力 Y420 (4K) : 4K60Hz/59.94Hz 映像のみ YPbPr (4:2:0) で出力し、その他の映像入力時は AUTO と同等
COLOR RANGE	出力映像のカラーレンジを設定します。 通常は工場出荷設定のままご使用ください。 AUTO : 接続機器に合わせて自動設定 ※工場出荷設定 LIMITED : リミテッドレンジ (16~235 範囲) で出力 FULL : フルレンジ (0~255 範囲) で出力
4K DOWN CONVERT	4K60Hz/59.94Hz 映像入力時のダウンコンバート動作を設定します。 ダウンコンバートした場合はフル HD 解像度 (1920×1080p) になります。通常は工場出荷設定のままご使用ください。 AUTO : 表示機器が 4K 非対応の場合に 4K60Hz/59.94Hz 映像をダウンコンバートして出力します ※工場出荷設定 OFF : ダウンコンバート機能を OFF にします FORCE : 4K60Hz/59.94Hz 映像入力時に強制的にダウンコンバートして出力します

＜OUTPUT TMDS 項目説明＞ 映像出力信号の電気的な特性に関する設定です

項目	説明
PRE EMPHASIS	VIDEO OUT 端子の映像出力 (TMDS) 信号のプリエンファシスレベルを設定します。通常は工場出荷設定のままご使用ください。 AUTO : 解像度に合わせて適切なレベルで出力します ※工場出荷設定 0(off) : プリエンファシスを OFF にします (出力 HDMI ケーブルが短い時に有効な場合があります) 1~31 : プリエンファシスレベルを固定値にします (出力 HDMI ケーブルが長い時及び、特定の解像度に対して有効な場合があります)
AMPLITUDE	VIDEO OUT 端子の映像出力 (TMDS) 信号の振幅レベルを調整します。通常は工場出荷設定のままご使用ください。 AUTO : 標準の振幅レベルで出力します ※工場出荷設定 0~31 : 振幅レベルを任意に変更して出力します (出力 HDMI ケーブルの長さや特性により信号減衰が大きい、もしくはシンク機器の受信感度が低い時に有効な場合があります)
TERMINATE	VIDEO OUT 端子の映像出力 (TMDS) 信号線の終端抵抗値を調整します。通常は工場出荷設定のままご使用ください。

	AUTO :標準の抵抗値に設定します ※工場出荷設定 0~31 :任意の抵抗値を変更します (シンク機器の電気特性とズレが有る時に有効な場合があります)
--	--

〈HDCP 項目説明〉 ソース機器からの HDCP 認証に対する応答動作の設定です

項目	説明
RESPONSE	ソース機器からの HDCP 認証要求に対する本機の動作を設定します。 通常は工場出荷設定のままご使用ください。 NORMAL :通常の応答をします ※工場出荷設定 DISABLE :応答しません 一部のソース機器では、接続機器が HDCP に対応していると自作コンテンツ等、本来 HDCP が不要なものに対しても HDCP を付加して出力する場合があります。本設定を「DISABLE」にするとソース機器が本機を HDCP 非対応機器と認識し、意図しない不要な HDCP の付加を回避することが可能になります。 本設定が「DISABLE」の時は通常の HDCP 付コンテンツ(市販の映像ソフトや地上デジタル放送、BS デジタル放送等)はソース機器より送出停止もしくはミュートされて表示できませんのでご注意ください。

〈HPD 項目説明〉 プラグアンドプレイに関わる入力側/出力側のホットプラグ動作の設定です

項目	説明
INPUT SIDE	VIDEO IN 端子側のホットプラグ動作を設定します。 通常は工場出荷設定のままご使用ください。 NORMAL :通常の動作をします ※工場出荷設定 6-SEC TOGGLE :ソース機器と接続中に映像が来ない間、6 秒周期でホットプラグをトグルします 12-SEC TOGGLE :ソース機器と接続中に映像が来ない間、12 秒周期でホットプラグをトグルします 20-SEC TOGGLE :ソース機器と接続中に映像が来ない間、20 秒周期でホットプラグをトグルします 通常、ソース機器はシンク機器のホットプラグを検出するとシンク機器の EDID から表示性能を確認して映像出力を開始します。設置場所のアース状況や外来ノイズが映像ケーブルや電源ケーブルに干渉し、電源投入後に EDID の読み込みに失敗して映像が表示されないままになるケースが一般的な障害例としてあります。万が一その様な症状の疑いがある場合は本設定をお試しください。

OUTPUT SIDE	VIDEO OUT 端子側のホットプラグ検出動作を設定します。 通常は工場出荷設定のままご使用ください。 NORMAL : 通常の検出動作をします ※工場出荷設定 IGNORE : SINK 側のホットプラグ信号を無視して映像を出力開始します 一部の特定用途の業務用機器（LED 表示機器用スキャンコンバーター等）において EDID やホットプラグ機能が無いものが稀に存在します。その様な機器を接続する際は「IGNORE」に設定すると映像出力が可能になる場合があります。 但し「IGNORE」の設定では通常の EDID やホットプラグ機能を有する表示機器に対して適切に映像・音声出力ができない可能性がありますのでご注意ください。
-------------	---

※各行でファンクションダイヤルを 2 秒程度長押しすると、当該行の設定が工場出荷設定に戻ります。本設定変更の際に映像が非表示になった場合、カーソル位置をそのままにして長押しすることにより工場出荷設定に戻すことも可能です。

(3) AUDIO SETTING ページの説明

HDMI 音声及びアナログ音声に関する動作を変更できます。

本設定ページの項目を変更した場合は本機の電源を入れ直してください。

[AUDIO OPERATE SETTING] PAGE画面表示例

RETURN

CRO-UAE12

[AUDIO OPERATE SETTING]

EMBED MODE : AUTO

PEAK TIME : 20 [s e c]

BLACK SCREEN : OFF

LEVEL / DELAY

AUDIO CHANNEL MAPPING

AUDIO-OUT

HDMI-IN

RCA-IN

TEST TONE

HDMI / CH 1	⇄	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-
HDMI / CH 2	⇄	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-
HDMI / CH 3	⇄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HDMI / CH 4	⇄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HDMI / CH 5	⇄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HDMI / CH 6	⇄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HDMI / CH 7	⇄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HDMI / CH 8	⇄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCA 1	⇄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCA 2	⇄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCA 3	⇄	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCA 4	⇄	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

＜EMBED MODE 項目説明＞ 音声重畳/音声分離の動作に関する設定です

項目	説明
AUTO	エンベッド(重畳)とデエンベッド(分離)のデジタル処理を自動で優先判定して実施します。 本動作モードでは音声のデジタル処理に使用する音声クロックを入力 HDMI 信号から再生して優先的に使用しますが、音声クロックを再生できない時 (DVI 入力時を含む) は、内部で生成した音声クロックを使用します。 音声クロックを入力 HDMI 信号から再生している時は、エンベッド (重畳) 音声とデエンベッド (分離) 音声のどちらに対してもデジタル処理(レベル調整・遅延調整)が可能です。 音声クロックを内部で生成している時は、エンベッド (重畳) 音声に対してのみデジタル処理(レベル調整・遅延調整)が可能です。 HDMI 信号からの音声クロック再生は、HDMI 音声フォーマットがリニア PCM(16kHz～96kHz 16～24bit) の場合に限ります。 本機は圧縮系音声やハイビットレート音声を音声分離してアナログ出力することはできませんが、リニア PCM 変換したアナログ音声をこれらの音声と入れ替えて出力することが可能です。
EMBED FIRST	エンベッド(重畳)音声処理を優先します。 音声のデジタル処理に内部生成の音声クロックを使用し、重畳音声に対してのみデジタル処理(レベル調整・ディレイ調整)が可能です。 音声分離のデジタル処理には入力 HDMI 信号から再生した音声クロックを使用するため音声分離は可能ですが、分離音声のデジタル処理(レベル調整・ディレイ調整)はできません。 このモードで BLACK SCREEN 設定を ON にすると、映像入力が無い時に内部で生成した黒画面(HDMI 720×480@59.94Hz)に音声を重畳して HDMI 信号を出力します。
DeEMB FIRST	デエンベッド(分離)音声処理を優先します。 音声重畳と音声分離双方に入力 HDMI 信号から再生した音声クロックを使用し、重畳音声と分離音声のどちらに対してもデジタル処理(レベル調整・遅延調整)が可能です。但し、入力 HDMI 信号が無い場合や正常に再生できない時は音声重畳と音声分離のどちらの処理も行いません。
MAPPING	各出力音声と入力音声の配置変更(マッピング)が可能なモードです。

	音声チャンネルの入れ替えや重畳するチャンネルの指定、もしくは複数チャンネルへの同時出力などが可能です。1つの出力音声チャンネルに複数の入力音声を割り当てるとミキシングして出力します。 但し、入力 HDMI 音声に対応するリニア PCM の場合は HDMI 音声とアナログ音声のマッピング/ミキシング出力が可能です。入力 HDMI 音声に対応するリニア PCM でない場合はアナログ音声のみがマッピング/ミキシング出力可能となります。 ・ミキシング後の音量レベルがデジタル音声のフルスケールレベルに達すると音声歪みが生じますのでご注意ください。必要によりレベル調整機能を使用してミキシング前の入力音声レベルの調整を行ってください。 ・音声マッピングの操作方法は欄外の「音声マッピングの設定方法」を参照してください
THROUGH	入力 HDMI 音声を出力 HDMI にパススルーするモードです。 音声分離は行いますが、レベル・遅延調整はできません。 このモードでは音声重畳を行いません。
CUT	音声(HDMI 音声、アナログ音声)出力を全てカットするモードです。 このモードでは音声重畳を行いません。
TEST	1kHz/-10dBu の正弦波をテストトーンとして出力するモードです。 ・テストトーン出力の設定方法は欄外の「テストトーン出力の設定方法」を参照してください

・音声マッピングの設定方法

EMBED MODE を「MAPPING」に変更するとカーソル(⏏指マーク)をメニュー画面下半分(AUDIO CHANNEL MAPPING 欄)に移動して音声チャンネルマッピングを設定することが可能になります。

AUDIO CHANNEL MAPPING 欄

入力音声チャンネル

(HDMI) (アナログ)

AUDIO - OUT	HDMI - IN	RCA - IN
	1 2 3 4 5 6 7 8	1 2 3 4
HDMI / CH 1	-	-
HDMI / CH 2	-	-
HDMI / CH 3	-	-
HDMI / CH 4	-	-
HDMI / CH 5	-	-
HDMI / CH 6	-	-
HDMI / CH 7	-	-
HDMI / CH 8	-	-
RCA 1	-	-
RCA 2	-	-
RCA 3	-	-
RCA 4	-	-

左端のカーソル(⏏)を上下に移動して、設定したい出力音声行(AUDIO-OUT:HDMI/CH1～CH8、RCA1～4)でファンクションダイヤルを押す。

出力音声チャンネル

入力音声選択欄

A U D I O - O U T										H D M I - I N								R C A - I N			
										1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4
H D M I / C H 1										○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H D M I / C H 2										-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H D M I / C H 3										-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

カーソルが入力音声選択欄に移動して○(点滅あり)になります。

A U D I O - O U T										H D M I - I N								R C A - I N			
										1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4
H D M I / C H 1										●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H D M I / C H 2										-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H D M I / C H 3										-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

カーソル(○)を横方向へ移動し、割り当てたい入力 HDMI-IN(1~8)、RCA-IN(1~4)下の位置でファンクションダイヤルを押すと選択箇所にマーク(●)が付きます。

A U D I O - O U T										H D M I - I N								R C A - I N			
										1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4
H D M I / C H 1										●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H D M I / C H 2										-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H D M I / C H 3										-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

複数選択した場合はミキシングされます。左の例では HDMI-IN1 と IN2 の音声をミキシングして HDMI/CH1 に出力します。

選択を取り消す場合はマーク(●)上にカーソル(○)を移動して再度ファンクションダイヤルを押します。

A U D I O - O U T										H D M I - I N								R C A - I N			
										1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4
H D M I / C H 1										●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H D M I / C H 2										-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H D M I / C H 3										-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

左右どちらかの欄外にカーソル(○)を移動すると、カーソル(☞)が左端に戻ります。

・テストトーン出力の設定方法

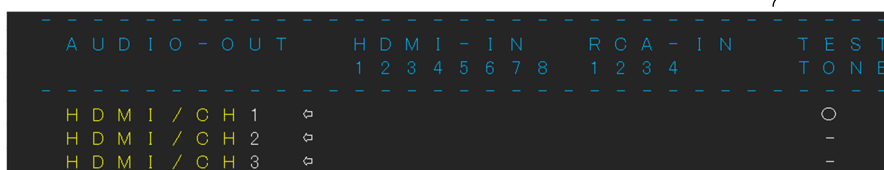
EMBED MODE を「TEST」に変更するとカーソル(☞指マーク)をメニュー画面下半分の AUDIO CHANNEL MAPPING 欄に移動して、テストトーン出力を設定することが可能になります。

AUDIO CHANNEL MAPPING 欄

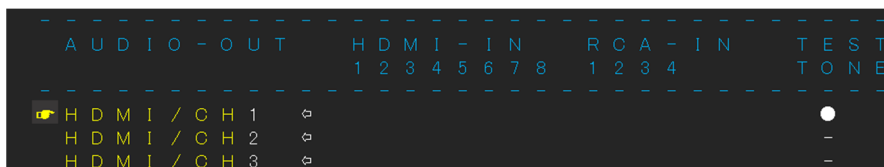
A U D I O C H A N N E L M A P P I N G																					
A U D I O - O U T										H D M I - I N								R C A - I N			
										1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4
出力音声チャンネル	H D M I / C H 1										☞	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	H D M I / C H 2										-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	H D M I / C H 3										-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	H D M I / C H 4										-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	H D M I / C H 5										-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	H D M I / C H 6										-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	H D M I / C H 7										-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	H D M I / C H 8										-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	R C A 1										-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	R C A 2										-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	R C A 3										-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	R C A 4										-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

カーソル(☞)が出力音声チャンネルの左端にある時にファンクションダイヤルを押すと、右端のテストトーン出力選択欄に移動して(○)になります。

テストトーン出力選択欄



テストトーン出力選択欄でファンクションダイヤルを旋回し、カーソル(○)を上下に移動します。



選択したい箇所でファンクションダイヤルを押すとマーク(●)が付きます。ファンクションダイヤルを2秒程度長押しするとカーソルが出力音声チャンネルの左端に戻り、指マーク(☞)に変わります。



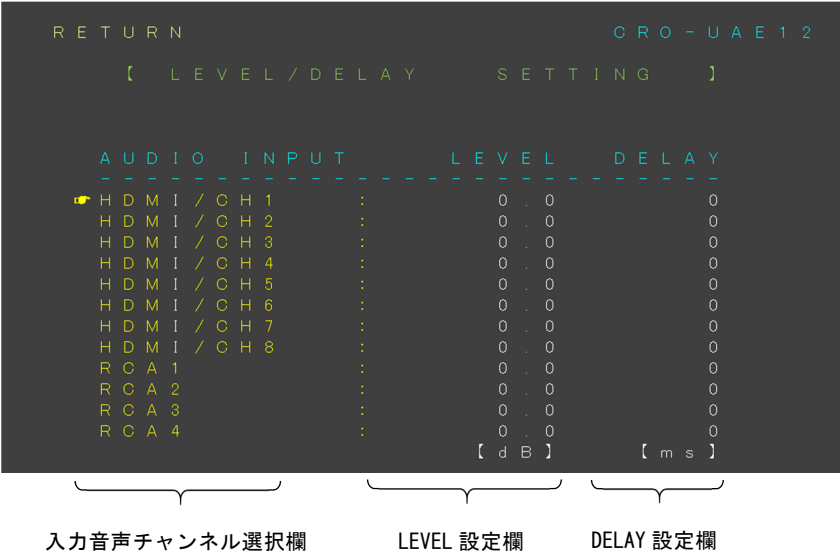
＜PEAK TIME 項目説明＞ 入力情報欄に表示される各音声ピーク値の判定間隔の設定です

項目	説 明
PEAK TIME	入力音声のピーク値判定間隔(監視時間間隔)を設定します。 3sec : 3 秒間 5sec : 5 秒間 10sec : 10 秒間 20sec : 20 秒間 30sec : 30 秒間 60sec : 60 秒間 NO LIMITS : リセット無しで継続して計測します

＜BLACK SCREEN 項目説明＞ 映像未入力時の黒画面出力の設定です

項目	説 明
BLACK SCREEN	映像未入力時の黒画面出力を設定します。 OFF : 映像信号入力が無い時に映像信号出力を停止します。 ON(@NO INPUT) : 映像信号入力が無い時に黒画面(HDMI 720×480@59.94Hz)を出力します。 EMBED MODE が EMBED FIRST 及び MAPPING の時のみ黒画面の ON/OFF の設定が可能で、本機に映像入力が無くても接続モニタから重畳音声を出力することができます。 その他の EMBED MODE では黒画面は OFF になります。

[LEVEL/DELAY SETTING] PAGE画面表示例



本ページではファンクションダイヤルを押す毎にカーソル(⏏)が次の様に設定欄を移動します。
入力音声チャンネル選択欄 → LEVEL 設定欄 → DELAY 設定欄 → 入力音声チャンネル選択欄

LEVEL 設定欄、DELAY 設定欄でファンクションダイヤルを回して設定値を増減し、ファンクションダイヤルを押して設定値を確定(メモリ保存)します。

〈LEVEL/DELAY SETTING 項目説明〉 各入力音声のレベル、ディレイに関する設定です

設定欄	説 明
LEVEL	各入力音声のレベル調整値を設定します LEVEL 設定欄でファンクションダイヤルを回すと LEVEL 値が 0.5dB ステップで増減し、押すと値が確定してカーソルが右の DELAY 設定欄に移動します。LEVEL 設定欄でファンクションダイヤルを 2 秒程度長押しすると初期値 (0.0dB) にリセットされます。 設定値 : +20.0[dB] ~ -40.0[dB], MUTE
DELAY	各入力音声のディレイ量を設定します DELAY 設定欄でファンクションダイヤルを回すとディレイ量が 10ms ステップで増減し、押すと値が確定してカーソルが入力音声チャンネル選択欄 (行左端) に移動します。DELAY 設定欄でファンクションダイヤルを 2 秒程度長押しすると初期値 (0ms) にリセットされます。なお最大値は入力 HDMI 音声のサンプリング周波数で変わります。 サンプリング周波数 44.1kHz: 最大 2721ms サンプリング周波数 48kHz: 最大 2500ms サンプリング周波数 96kHz: 最大 1250ms

(4) EDID SETTING ページの説明

ソース機器（映像信号源）が正常に映像・音声を出力するためには、適切な EDID 設定で本機を表示機器としてエミュレートする必要があります。

本設定ページの項目を変更した場合は本機の電源を入れ直してください。

[EDID SETTING/INFORMATION] PAGE 画面表示例



＜EDID INPUT SET 項目説明＞ エミュレートに使用する EDID に関する設定です

ファンクションダイヤルを回して目的の選択項目を表示し、押下で選択を確定（メモリ保存）して反映します。

選択項目	説 明
PASS THROUGH	VIDEO OUT 端子に接続中の機器の EDID を使用します。
BACKUP1	内蔵メモリ BACKUP1 にコピーした EDID を使用します。
BACKUP2	内蔵メモリ BACKUP2 にコピーした EDID を使用します。
CUSTOM	本機内蔵の EDID (カスタム EDID) を使用します。

※EDID 変更直後から映像が表示されなくなった場合は、変更直後（ファンクションダイヤルを回してカーソル移動していない状態）であれば、2 秒程度の長押しで変更箇所を直前の選択に戻して画面表示を復帰させることが可能です。画面表示が復帰しない場合は[リセット起動]を実行し、全メモリ内容を工場出荷状態にリセットしてください。

＜カスタム EDID の選択項目説明＞

EDID INPUT SET を「CUSTOM」に設定すると、ページ中央より下の欄でカスタム EDID の要求解像度及び、他の一部の項目を選択して変更することが可能です。

カスタム EDID の何れかの項目を変更すると、画面中央付近で[APLY CHANGES ?]という行が点滅します。この行にカーソルを移動してファンクションダイヤルを押すと変更を確定（メモリ保存）して反映します。



※変更確定直後から映像が表示されなくなった場合は、変更直後（ファンクションダイヤルを回してカーソル移動していない状態）であれば、2 秒程度の長押しで確定前の状態に戻して画面表示を復帰させることが可能です。画面表示が復帰しない場合は本機の[リセット起動]を行い、全メモリ内容を工場出荷状態にリセットしてください。

項目	説 明
VIDEO 関連	
TIMING	カスタム EDID の要求解像度 (Preferred Timing) を選択します。 (0) 720×480@59.94Hz, (1) 1280×720@60Hz, (2) 1280×720@59.94Hz, (3) 1920×1080i@60Hz, (4) 1920×1080i@59.94Hz, (5) 1920×1080@60Hz,

	(6) 1920×1080@59.94Hz, (7) 1920×1080@120Hz, (8) 2560×1080@60Hz, (9) 3840×2160@60Hz, (10) 3840×2160@59.94Hz, (11) 3840×2160@50Hz, (12) 3840×2160@48Hz, (13) 3840×2160@30Hz, (14) 3840×2160@29.97Hz, (15) 3840×2160@25Hz, (16) 3840×2160@24Hz, (17) 4096×2160@60Hz, (18) 4096×2160@59.94Hz, (19) 4096×2160@50Hz, (20) 4096×2160@48Hz, (21) 4096×2160@30Hz, (22) 4096×2160@29.97Hz, (23) 4096×2160@25Hz, (24) 4096×2160@24Hz, (25) 1024×768@60Hz, (26) 1280×768@60Hz, (27) 1360×768@60Hz, (28) 1366×768@60Hz, (29) 1440×900@60Hz, (30) 1280×960@60Hz, (31) 1280×1024@60Hz, (32) 1600×900@60Hz, (33) 1400×1050@60Hz, (34) 1680×1050@60Hz, (35) 1600×1200@60Hz, (36) 1920×1200@60HzRB, (37) 1280×800@60Hz, (38) 2048×1152@60HzRB, (39) 2560×1600@60HzRB 括弧 () 内の数字 0~39 はカスタム番号を表し、ソースからはモニタ名 [CRO-UAE12 + カスタム番号] として認識されます。 RB 表記は VESA CVT の Reduced Blanking を意味します。
COL-SPACE	対応するカラースペースを選択します。 RGB, RGB/Y444, RGB/Y422, RGB/Y444/Y422, RGB/Y420 (4K)
DEEP-COL	※本機のプリセット EDID は 8bit 固定 (ディープカラー OFF) のため、設定はできません。 外部の EDID を使用することでディープカラー要求が可能ですが、本機は 12bit までの対応となりますのでご注意ください (16bit 非対応)。
HDR	対応する最大輝度 (cd/m²) を EDID 内で指定することで、HDR 対応を有効にします。 NOT SUPPORT, SUPPORT (100 cd/m² max, 600 cd/m² max, 1000 cd/m² max, 2000 cd/m² max, 4000 cd/m² max, 10000 cd/m² max)
AUDIO 関連	
FORMAT	対応する AUDIO フォーマット (リニア PCM のみ) を選択します。 ・ BASIC AUDIO, LPCM 2CH, LPCM 3CH max ~ LPCM 8CH max
SAMPLING	対応する AUDIO サンプル周波数を選択します。 [単一周波数 (only) 指定の場合] ・ 32kHz, 44.1kHz, 48kHz, 88.2kHz, 96kHz, 176.4kHz, 192kHz [最大周波数 (max) 指定の場合] ・ 44.1kHz, 48kHz, 88.2kHz, 96kHz, 176.4kHz, 192kHz
BIT-DEPTH	対応する AUDIO 量子化 bit 数を選択します。 [単一 bit 数指定の場合] ・ 16 bit only, 20 bit only, 24 bit only [最大 bit 数指定の場合] ・ 20 bit max, 24 bit max
SPEAKER	対応する SPEAKER 配置を選択します。 (0) FL/FR, (1) FL/LR/LFE, (2) FL/FR/FC, (3) FL/FR/LFE/FC, (4) FL/FR/BC, (5) FL/FR/LFR/BC, (6) FL/FR/FC/BC, (7) FL/FR/LFE/FC/BC, (8) FL/FR/LS/RS, (9) FL/FR/LFE/LS/RS, (10) FL/FR/FC/LS/RS, (11) FL/FR/LFE/FC/LS/RS, (12) FL/FR/LS/RS/BC, (13) FL/FR/LEF/LS/RS/BC, (14) FL/FR/FC/LS/RS/BC,

	(15)FL/FR/LFE/FC/LS/RS/BC, (16)FL/FR/LS/RS/RLC/RRC, (17)FL/FR/LFE/LS/RS/RLC/RRC, (18)FL/FR/FC/LS/RS/RLC/RRC, (19)FL/FR/LFE/FC/LS/RS/RLC/RRC, (20)FL/FR/FLC/FRC, (21)FL/FR/LFE/FLC/FRC, (22)FL/FR/FC/FLC/FRC, (23)FL/FR/LFE/FC/FLC/FRC, (24)FL/FR/BC/FLC/FRC, (25)FL/FR/LFE/BC/FLC/FRC, (26)FL/FR/FC/BC/FLC/FRC, (27)FL/FR/LFE/FC/BC/FLC/FRC, (28)FL/FR/LS/RS/FLC/FRC, (29)FL/FR/LFE/LS/RS/FLC/FRC, (30)FL/FR/FC/LS/RS/FLC/FRC, (31)FL/FR/LFE/FC/LS/RS/FLC/FRC, (32)FL/FR/FC/LS/RS/TpFC, (33)FL/FR/LFE/FC/LS/RS/TpFC, (34)FL/FR/FC/LS/RS/TC, (35)FL/FR/LFE/FC/LS/RS/TC, (36)FL/FR/LS/RS/TpFL/TpFR, (37)FL/FR/LFE/LS/RS/TpFL/TpFR, (38)FL/FR/LS/RS/FLW/FRW, (39)FL/FR/LFE/LS/RS/FLW/FRW, (40)FL/FR/FC/LS/RS/BC/TC, (41)FL/FR/LFE/FC/LS/RS/BC/TC, (42)FL/FR/FC/LS/RS/BC/TpFC, (43)FL/FR/LFE/FC/LS/RS/BC/TpFC, (44)FL/FR/FC/LS/RS/TpFC/TC, (45)FL/FR/LFE/FC/LS/RS/TpFC/TC, (46)FL/FR/FC/LS/RS/TpFL/TpFR, (47)FL/FR/LFE/FC/LS/RS/TpFL/TpFR, (48)FL/FR/FC/LS/RS/FLW/FRW, (49)FL/FR/LFE/FC/LS/RS/FLW/FRW 括弧()内の数値は Speaker Pattern 番号を示し、以降の英略字は配置コードです。 Speaker 配置コードは CTA-861-G/F の Speaker Placement Label に相当します。 FL:Front Left, FR:Front Right, FC:Front Center, LFE:Low Frequency Effects, RLC:Rear Left Center, RRC:Rear Right Center, FLC:Front Left Center, FRC:Front Right Center, BC(Back Center), RLC:Rear Left Center, RRC:Rear Right Center, LS:Left Surround, RS:Right Surround, TpFC:Top Front Center, TpFL:Top Front Left, TpFR:Top Front Right, FLW:Front Left Wide, FRW:Front Right Wide, TC:Top Center
--	---

(5) RESET ページの説明

内蔵メモリに保存している各種設定を工場出荷設定にリセットします。

<RESET SETTING 項目説明>

項目	説明
SELECT TARGET	リセットを行う対象を指定します。 ・ ALL :内蔵メモリの全設定値を指定 ・ VIDEO SETTING :VIDEO 関連の設定のみを指定 ・ AUDIO SETTING :AUDIO 関連の設定のみを指定 ・ EDID SETTING :EDID 関連の設定 (BACKUP EDID 含む) のみを指定
EXECUTE	リセットを実行します ・ NO :リセットを実行しません ・ YES :ファンクションダイヤルを押すとリセットを実行します 作業が完了すると表示が” DONE” に変わります

4-3. 初期化起動

全ての設定値を初期化（工場出荷設定に戻す）して起動することが可能です。不適切な設定により映像が表示できない（オンスクリーンメニューが表示出来ない）場合にご使用ください。

【初期化起動手順】

1. ファンクションダイヤルを押したまま本機の電源を投入する
2. そのまま（ファンクションダイヤルを押したまま）4 秒以上維持する
（この間 MENU LAMP と KEY LOCK LAMP が同時に 1.6 秒周期でフラッシュ点滅します）
3. MENU LAMP と KEY LOCK LAMP が点灯に変わったら初期化完了（電源を入れ直す）

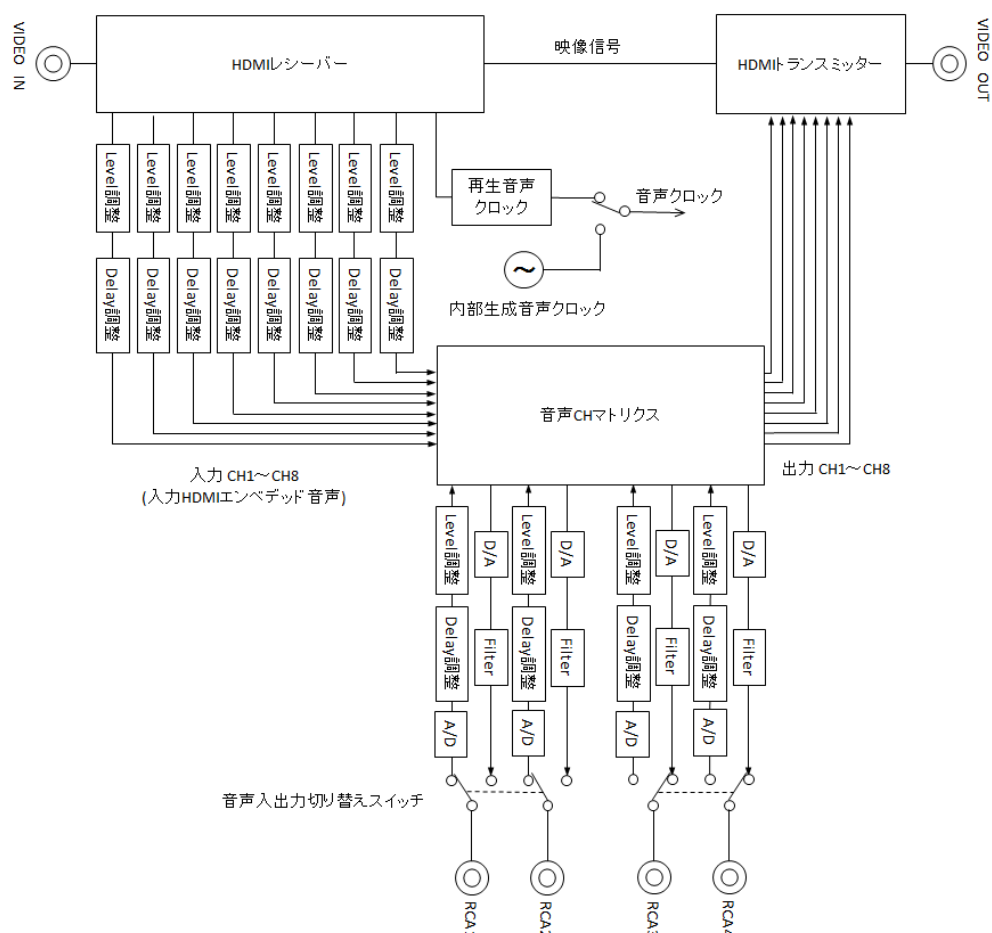
5. 工場出荷設定値

本機内蔵メモリの工場出荷設定一覧を掲載します。オンスクリーンメニューから RESET を実施した場合や初期化起動を実施した場合は一覧の値になります。

MENU ページ		ページ内設定項目		初期値
VIDEO SETTING	OUTPUT VIDEO FORMAT	COLOR SPACE		AUTO
		COLOR RANGE		AUTO
	OUTPUT TMDS	4K DOWN CONVERT		AUTO
		PRE EMPHASIS		AUTO
AUDIO SETTING	HDCP	AMPLITUDE		AUTO
		TERMINATE		AUTO
		RESPONSE		NORMAL
	HPD	INPUT SIDE		NORMAL
		OUTPUT SIDE		NORMAL
	EMBED MODE			AUTO
	PEAK TIME			20sec
	BLACK SCREEN			OFF
LEVEL/DELAY	AUDIO CHANNEL (MAPPING 設定時)	HDMI/CH1～CH8（出力）		ノーマーク（未配置）
		RCA1～4（出力）		ノーマーク（未配置）
	テストトーン	HDMI/CH1～CH8（出力）		マーク（ON）
		RCA1～4（出力）		マーク（ON）
	LEVEL	HDMI/CH1～CH8（入力）		0.0[dB]
		RCA1～4（入力）		0.0[dB]
EDID SETTING	DELAY	HDMI/CH1～CH8（入力）		0[ms]
		RCA1～4（入力）		0[ms]
	EDID INPUT SET	(MODE)		PASS THROUGH
		VOLUME		0
VIDEO (CUSTOM 設定時)	TIMING	3840×2160@60		3840×2160@60
		RGB		RGB
	DEEP-COL	OFF		OFF
		NOT SUPPORT		NOT SUPPORT
AUDIO (CUSTOM 設定時)	FORMAT	LPCM 2CH		LPCM 2CH
		48kHz max		48kHz max
SAMPLING	(48k/44.1k/32kHz)			(48k/44.1k/32kHz)

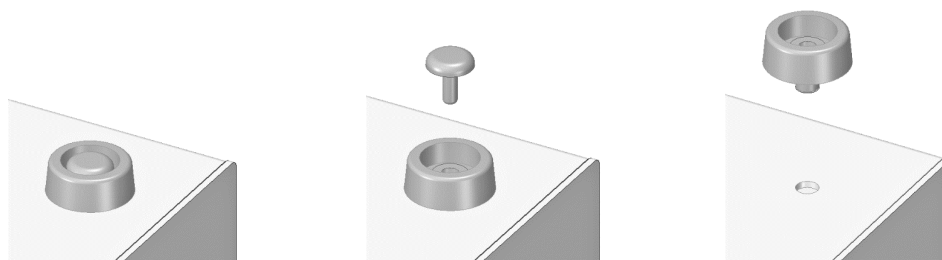
		BIT-DEPTH	24bit max (24/20/16bit)
		SPEAKER	PATTERN-0 (FL/FR)

6. ブロック図



7. ラックマウントについて

別売りのラックマウントキットに本機を複数台実装可能です。取付け方法はラックマウントキットの説明書をご覧ください。取付けの際は本機底面のプラ足を全て取りはずして下さい。
(中央のピンをマイナスドライバーなどで浮かせて引き抜くとプラ足本体を外せます。)



1. 本書の著作権はイメージニクス株式会社に帰属します。本書の一部または全部をイメージニクス株式会社から事前に許諾を得ることなく複製、改変、引用、転載することを禁止します。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 本機のファームウェアおよびハードウェアに対して、リバースエンジニアリング等の手法によって内部を解析し利用することを禁止します。
6. 乱丁本、落丁本の場合はお取替えいたします。当社、営業窓口までご連絡ください。

イメージニクス株式会社
All Rights Reserved. 2014

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。

製造元 イメージニクス株式会社

製品に関するお問い合わせは下記サポートダイヤルにて承ります。

フリーダイヤル 0120-480-980 (全国共通)

東日本サポート TEL 03-3464-1418

西日本サポート TEL 06-6358-1712

本 社	〒182-0022	東京都調布市国領町 1-31-5	
営業本部	〒150-0043	東京都渋谷区道玄坂 1-16-7 ハイウェービル 6F	TEL 03-3464-1401
大阪営業所	〒534-0025	大阪市都島区片町 2-2-48 JR 京橋駅 NK ビル 3F	TEL 06-6354-9599
福岡営業所	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東 1-18-25 第5博多偕成ビル 3F	TEL 092-483-4011

Home Page <https://imagenics.co.jp>

2607TS V1R3